

新年度のごあいさつ

4月1日から約2ヶ月ぶりに対面レッスンを再開しました。本来ならば、皆様に対面レッスン再開のお知らせの際、同時にお伝えすべきことでしたが、いまだ感染者数が多い中で、レッスン再開の決断に至った経緯を、ここに書きたいと思います。まず、新年度から講師が変わるクラスがほとんどなので、クラス・講師の雰囲気を感じ、講師の英語に直接触れて欲しいことが重要と考えました。そして、春休み中であることから、学校や園でのクラスターが起こる可能性が低い点が大きな2つの理由です。これからも状況を見極め、できる限り対面レッスンのご案内をしていく予定ですので、ご理解いただけますと幸いです。

ここ2年間、県内の感染状況に合わせオンライン等の対策を行い、受講者及び保護者の皆様には多大なご協力を頂いてまいりました。何処か被害者のような感覚で恐る恐るの対策になってしまっていたのか、皆様にご理解いただける対応であったのかとても不安でした。その中でも「オンラインでもクラスをやってくれることがありがたい」と言うお声や、「対面レッスンに行くのは怖い」と言うお声で自分達の判断のよし悪しを確認する日々でした。

正直、小学校高学年（初心者のぞく）ともなればオンラインでも、レッスンに必要なコミュニケーションは十分に取れます。しかし、やはり画面からではグループ感を味わうことが難しく、伝わりにくいことがあるのも事実です。主に年中児～小学6年生クラスのPLSシステムは、対面レッスンの楽しさや臨場感が特徴のシステムですので、オンラインレッスンを50分間集中して何ヶ月も受けることは小さなお子様にとっては大変難しいところもあり、お子様だけでなく保護者の皆様の負担も大きかったと思います。

そこで今後は、これまでの概念に捉われない with コロナでのイングリッシュプラスのあり方、今ある施設で最良なクラスの形態を提供することが大切だと考えています。私たちの子供時代と違うからといって、今のお子様たちが不憫なわけではありません。彼らにとってオンラインでコミュニケーションを取ることは不可欠なはず。そして、今後もいつオンラインレッスンに切り替わってもおかしくない状況です。対面レッスンの質とオンラインレッスンの質は全く同じとは言いきれませんが、しかしオンラインレッスンでしかできないことがあることも事実です。私たち大人が考え、工夫し、物事をポジティブに捉える姿をお子様に見せていきたいですし、色んな声に耳を傾け受講者様及び保護者の皆様とより良いスクール作りをしていきたいと考えております。

2月末からは世界平和を揺るがすロシアによるウクライナ侵攻が始まり、ウクライナ出身の講師 Nica（ニカ）への心配をいただき、ありがとうございました。彼女自身もこの緊迫した状況の中、必死にプロフェッショナルに努めております。今現在、ご家族に怪我などはないものの、より安全な場所への移動の準備をしているとのこと。です。

国際語と呼ばれる英語に携わる私達は、世界に羽ばたく人間を育てていると考えています。言語や国際人としてのマナーだけでなく、子ども達にイングリッシュプラスで出会った先生の出身国を大切に思う「キモチ」が芽生え、その「キモチ」が世界平和につながると信じています。『人種や国、性別に捉われない柔軟な心を育む場所』それがイングリッシュプラスです。

4月9日 ウィルソン明日香